

中学1年生 年間指導計画表

教科目(単位数)	理科Ⅱ(2単位)
年間目標	自然科学についての知識を得ることの意味を理解し、興味を持って積極的に生物・地学を学べるようになること。
使用教科書	東京書籍『新編 新しい科学 1年』
使用補助教材	『実力練成問題集 理科 1年 2016』 正進社『新理科表デラックス』

学期	区分	単元	内容	目標・留意点
1 学 期	前 半	身近な生物を観察しよう 1 植物の世界 1章 花のつくりとはたらき 2章 葉、茎、根のつくりとはたらき	身近な生物の観察 1. 花のつくりとはたらき 2. マツの花と種子 1. 葉のつくり	身近な植物などについての観察、実験を通して、実験器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身につけ、生物の調べ方の基礎を習得する。 花の観察を行い、花のつくりの基本的な特徴を見つけ、花の働きと関連付けてとらえること。
	後 半	2章 葉、茎、根のつくりとはたらき 3章 植物の分類	2. 葉のはたらき 3. 植物と水 1. 種子をつくる植物の分類 2. 種子をつくらない植物	植物の葉、茎、根のつくりの観察や光合成、呼吸、蒸散に関する実験、観察にもとづいて、植物の特徴と関連付けてとらえる。 植物の体のつくりの特徴にもとづいて、分類でき、種類を知る方法を身につける。
2 学 期	前 半	2 大地の変化 1章 火をふく大地	1. 火山の形 2. 火山が生み出すもの 3. 火山活動と岩石 4. 火山灰の広がりから考える	火山の形、活動の様子及びその噴出物を調べ、それらをマグマの性質と関連付けてとらえる。 火成岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けてとらえる。
	後 半	2章 動き続ける大地	1. 地震のゆれの伝わり方 2. 地震のゆれの大きさ 3. 地震と災害 4. 地震が起こるしくみ	地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気づくこと。 地震の原因を地球内部の動きと関連付けてとらえ、地震に伴う土地の変化の様子を理解する。
3 学 期		3章 大地の変化を読みとる	1. 地層のでき方 2. 地層や化石からわかること 3. 堆積岩 4. 大地の変動 5. 大地の歴史	地層のでき方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見出す。 地層と其中的の化石を手がかりとして、過去の環境と地質時代を推定することができる。

評価方法	1 定期試験の成績 2 提出物(問題集・授業用ノート・実験レポート)、学習態度(発表回数)等の平常点 1、2を本校評価法に合わせて判断する。
------	--

学習方法	授業内容の定着を達成するために、問題集(基礎的な問題を中心)で定着をはかる。 昨年度の学習内容の定着させるために、課題や小テストを実施し、定期テストに備える。 定期テスト対策として、基礎基本問題の解法だけでなく、考察問題の解法も講義する。
------	---

注意事項	授業を休まないこと。授業を真剣に受けること。授業に積極的に参加すること。問題を何度も解き直すこと。
------	---

インフルエンザ等臨時休校になった場合の課題	問題集を扱います。
-----------------------	-----------